

<p>【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領</p>	<p>学校の教育目標 人間尊重の精神を基調とし、伝統と文化を尊重し、地域を愛する心を育て、心身ともにすこやかに人間性豊かな児童および将来の夢をもち国際社会に進んで貢献できる人間を育成することを目指し、次の目標を設定する。</p>	<p>【地域の実情】教育活動に協力的。行事などの参観率も高い。 【学校の実情】開校54周年を迎え、良い伝統をつぎ新たな歴史と伝統を創造しようとしている。各学年2、3学級で構成されているため、学年としての活動を行いやすく、多様な関わりから学ぶことができる。また異学年交流活動を積極的にしている。 【児童の実態】友達や人との関わりを大切にしようとする児童が多い。 【教師の実態】自身の在り方について考え、望ましい人間関係を築くとともに、よりよい行動や人間関係に生かしてほしい。</p>
--	--	--

<p>特別活動の目標</p>	<p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。</p>
----------------	---

<p>目指す児童像</p>	<p>○ 活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる児童 ○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる児童 ○ 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる児童</p>
---------------	---

<p>特別活動の重点目標</p>	<p>一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質や能力を育成する。</p>
------------------	--

目標	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
指導の方針	<p>学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p> <p>○ 楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を築くこと、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○ 自己のよさや可能性を生かして学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、社会の一員として責任をもって行動しようとする態度を育成する。</p>	<p>児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>○ 異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にこれを受け、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。</p>	<p>クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>○ 学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。</p>	<p>学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>○ 儀式的行事：厳粛で清らかな雰囲気を感じ、公共の精神を養う。 ○ 文化的行事：個性を伸ばし、自主性・創造性を高めること、責任感や連帯感の涵養を図る。 ○ 健康安全・体育的行事：個性を伸ばし、自主性・創造性を高めること、責任感や連帯感の涵養を図る。 ○ 遠足・集団宿泊行事：日常と異なる生活環境の中で、自然や文化に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳について学ばせる。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：総合的な学習の時間と関連を図りながら、ボランティア活動などを行い、社会奉仕の精神を養う。</p>
主な指導内容	<p>(1) 学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全(生活習慣、人間関係、健康安全、食育) (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現(将来像、社会参画)</p>	<p>学校の全児童により組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1) 児童会の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流 (児童集会) (3) 学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)</p>	<p>学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 (1) クラブの計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ※ クラブ発表会は文化的行事</p>	<p>○ 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 ○ 文化的行事：平素の学習の成果を発表しその向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に親しみたりする活動を行う。 ○ 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しみ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資する活動を行う。 ○ 遠足・集団宿泊の行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみるとともに、人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができる活動を行う。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。</p>
各教科・読書科	<p>○ 各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容と連携を図る。 ○ 特に読書科の内容と連携し、学校図書館の利用やお気に入りの物語の紹介などでは、学級や学年で児童の関わりを重視した指導を行う。</p>	<p>○ 各教科で身に付けた能力などを児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによく活用できるようにする。特に話し合いの仕方や計画・実践・改善を繰り返してよりよい活動になるようにするなどの指導は、国語科や学級活動などの学習内容や理科の学習の流れなどと関連させ連携を図る。 ○ 児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かすことができるようにする。</p>	<p>○ 各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。</p>	<p>○ 儀式的行事：学校や地域の専門家について学習したことを基に、学校や地域の一人としての自覚を高めるようにする。 ○ 文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○ 健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しみ態度を育成する。 ○ 遠足・集団宿泊の行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。</p>
特別の教科・道徳・外国語活動との関連	<p>低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良く助け合うこと、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくること、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団にすすんで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。</p> <p>外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。</p>	<p>下学年は、自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、上学年では、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団にすすんで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。</p> <p>コミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。</p>	<p>4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、すすんで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。</p> <p>「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。</p>	<p>儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなが協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつこと、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつこと、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるもの大切にすることを、遠足・集団宿泊の行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。</p> <p>外国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。</p>
総合的な学習の時間	<p>総合的な学習の時間で身に付けた自分との関わりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊の行事との関連や、総合的な学習の時間に行われる社会のかかわりや考える学習活動としての体験活動と、勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。</p>
家庭や地域との連携	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活づくり、健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。</p>	<p>児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。</p>	<p>児童の興味・関心を基本としながら、外部講師や地域の教育力を活用するなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。</p>	<p>文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいよう、期日などを考慮したり地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなど、学校の教育について積極的に地域の人々の理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼び掛けたりする。</p>
備考				